

くるはら

2018(平成30)年1月10日

第 54 号

発行 来原地区コミュニティ
づくり連絡協議会

編集 広 報 部



平成29年11月26日

祝 新消防自動車引渡し式



地域の安全・安心を守っていきます

新年のあいさつ

新しい年にあたって

来原コ連協会長 秋國 満



来原地域の皆様、明けましておめでとугоざいます。お元気で新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

申し上げます。

昨年コ連協の行事等にご参加、ご協力をいただき心から感謝を申し上げます。

さて本年はさんばい祭りが始まって四十年の節目の年であります。このため記念誌を発行することになり昨年実行委員会を立ち上げました。関係者の皆様や資料等をお持ちの方にご協力をいただき今年秋頃発行したいと思っております。又、地域の宝である来原小学校の統廃合問題ですが、現在の児童数では統合はやむを得ないかと思っております。児童、保護者の皆様や地域住民の皆様には大変厳しい決断をしていただく事になるかと思っております。コ連協も役員会でよく話し合っております。コ連協も役員会でよく話し合っております。さらに高齢者の一人暮らしの問題ですが、日々地域の方が声かけをしていただき安心して暮らせる地域作りをしていきたいと思っております。

今年も来原コ連協の行事等に対し、積極的にご参加とご協力を宜しくお願い致します。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

「人生二〇〇年時代」を迎える

塚本 近



来原地区の皆様方には、すこやかな新春を迎えられたことと思います。

今日、衣食住の環境変化と、医学の進歩により我が国を始めとし、世界各国で長寿化が進行し、五十年後には平均寿命は百歳が常識となると言われています。

これまで以上に超高齢化社会を前提として社会の諸制度や法律、そして何より私達一人一人が生涯から終えんを迎えるままでのような人生プランを立てるかを今一度考える年になればと願っています。

子ども達が健やかに育つ環境を

秋田 雅朝



地域の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

地域の将来を担う子ども達が、伸び伸びと健やかに成長してくれることは、地域の皆様の願い・誇りであります。小学校統合が進む中、高宮町も、保護者・振興会で会合を重ねられ、一定の方向が見えていきます。大切なことは、子ども達の思いを主体に検討していくことだと思います。今年は、地域の皆様の想いを一つにして次へ進める年になることを強く願ひ頑張つて参ります。

健康で

ワンダフルな年に

山根 温子



来原地域のみなさま、あけましておめでとугоざいます。良き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

人口減少社会の影響が様々なところに現れている昨今です。労働力を補うにはロボットや人工知能の利用などが進んでいますが、機械では代え難い人と人との関係を大切に、これからも地域の皆様とともに、本年も笑顔溢れる年となるよう頑張つてまいります。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

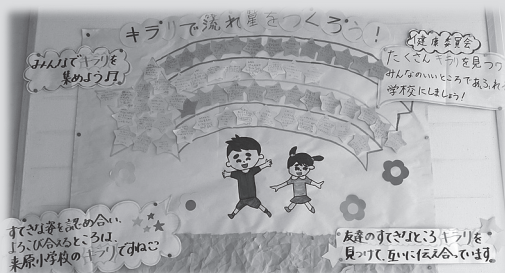
今年も成年！ワンダフルな年にいたしましょう。

来原っ子のキラリ発見!



キラリピンゴにチャレンジ中!

来原小学校では「仲間と認め合い 励まし合いながら 自分が決めた目標に向かって がんばる」ことを目指して、一人ひとりの可能性を伸ばすことを大切にしています。その取組の一つが『キラリ賞』です。この取組は、来原っ子のよいところや頑張ったところ等、キラリと光る素敵な姿を見つけたら、『キラリ賞』として、カードにメッセージを添えて渡すというものです。よさを視覚化して伝えることで、自分のよさに気付かせ、



キラリ賞 掲示板で来原っ子のキラリを共有

自信と誇りを持つてほしいという願いで始めました。今後も互いに認め合える喜びや温かさが来原小学校にもっともっと溢れるように、子供たちと共に取組を進めていきます。人としてよりよく生きる上で大切なことは何か、自分はどういうに生きるべきか、何を大切にするのか、心の芯を育む教育活動をしていきますので、今後とも来原地域の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

高宮町・来原地域の小学校統合への経緯と現状報告

平成二十二年四月(今から六年前)、学校規模適正化委員会より、『安芸高田市において望まれる学校規模は、一学年複数学級・一学年二十名から三十名程度が望ましい』との答申を受け、平成二十三年度より五カ年計画で第一期安芸高田市学校規模適正化推進計画が進められてきました。この間高宮町を除く吉田町、八千代町、甲田町では統合についての協議が進められ、いずれの地域でも統合に向けて動いております。

高宮町でも何度か協議は行いましたが、統合に向けての具体的な話し合いまでに至らないまま、市は平成二十八年三月に第二期安芸高田市学校規模適正化推進計画に移行しています。

このような状況の中で今年度に入り、五月七日に高宮町保護者有志が集まり、小学校の統合について話し合う機会を設け、人口、子どもの減少に歯止めがかからず複式授業で将来に不安を抱く保護者の声や、統合や教育に対して様々な不安を抱える声が上がる中で、今一度PTAや保護者会、地域で声を聞き、

この問題について真剣に考えようという機運となり、PTA、保護者会の役員を中心に、保護者の意見の集約やこれからの対応について様々な討議を行ってまいりました。

来原地域では、七月十二日に小学校・保育園の保護者にアンケート調査(統合についての意識調査)を行い、小学校・保育園どちらにおいても統合賛成が多数となりました。

また、来原地域全体では、八月二十三日に意見交換会をさせていただきました。『来原地域から学校がなくなるかもしれない』：統合は寂しいが、今の来原地域の人口減少、来原小学校の現状や児童数、そして教育を考えると統合もやむなし』との意見が多数あり、来原地域としては統合の意思表示が現在の状況となっております。

今後に向けて、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。





敬老会



お元気で、また来年お会いしましょう。楽しみにしております。

当日は小学生・子ども神楽団・来原駐在所・高美園などたくさんの方々のご協力をいただきありがとうございました。感謝・感謝の一日でした。

また皆様のご期待にそえないこと多々ありましたことお詫び申し上げます。

近況のお話から昔話など、短い時間ですが、悔しいと思うほどに、皆様ともっとおしゃべりがしたかったという思いが残ります。

十月十五日、雨にもかかわらず、たくさんの方々にご出席いただきました。懐かしいお顔・声・



くるはら保育園では、豊かな自然の恵みを、四季折々感じていくことを大切にしています。

なかでも、年長児から1歳児までの子どもたちが最も楽しんでいたのがサツマイモの収穫でした。

5月、地域の方に畑をお貸りし“なかよし会”の皆さんに手伝ってもらいながら、150本の鳴門金時、安納芋の苗を植えていきました。10月、運動会も終

え、待ちに待った芋掘りの日には、“なかよし会”のおじいちゃん、おばあちゃんたちに手伝ってもらいながら、次々に出てくるお芋を「わあ～おっかい！」と目をキラキラさせて喜んでいたり子どもたちでした。

収穫したサツマイモは、11月になかよし会の方との焼き芋をはじめ、ふかし芋、クッキングで芋汁やスイートポテトなどを作り、味わっていきました。

この幼時期だからこそ、自分で育て収穫し、味わうことの喜びを感じる経験が大切と考えています。今年度、たくさん収穫ができたことで、旬のサツマイモを色々な調理方法により味わうことができました。子どもたちはくるはらの地域で心豊かな経験をさせていただいております。日頃より、ご支援ご協力をいただきます地域の皆さまいつもありがとうございます。



第20回 平和の灯のつどい 被爆ピアノコンサート

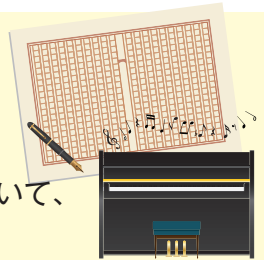
七十一回目の原爆記念日の前日に当る八月五日夕、第二十回目の「平和の灯のつどい」が来原小学校体育館において開催されました。今年も、五回目となる被爆ピアノによるコンサートで、演奏前にピアノの説明があり、プロの演奏家「原爆を許すまじ」をはじめ九曲を披露していただきました。続いて、地元小



中学生の連弾などが演奏されました。この被爆ピアノコンサートを全国で開催されている調律師 矢川光則さんの活動が映画化されることが決まり、今年九月に広島市でクラシックインシ、公開は平成三十一年夏の見通しとの紹介がありました。またノルウェー・オスロであった十二月十日のノーベル平和賞受賞式の翌日に行われた記念コンサートでは、矢川さん所有の被爆ピアノの音色が平和への願いをこめ響きました。

第37回 全国中学生人権作文コンテスト 三次地区大会表彰

昨年12月19日、第37回全国中学生人権作文コンテスト三次地区大会において、2年生 中村 夏未さん「被爆ピアノに触れて」が優秀賞を受賞されました。



第29回 安芸高田市たかみや人権文芸賞

来地域からの入選作品の紹介

《安芸高田市議会議長賞》

桑岡 孝輔さん 「引退犬 命の物語」を読んで
(高宮中学校1年生)

《入選》

- 芦田 翔さん (来原小学校1年生)
- 上野 穂花さん (来原小学校3年生)
- 松本はるなさん (来原小学校6年生)
- 本多 真麻さん (高宮中学校1年生)
- 小田 倫子さん (高宮中学校3年生)



緊急募集!

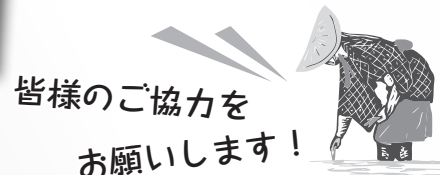
『来原さんばい祭り40周年記念誌』 作りのため、資料収集にご協力ください!!

来原地区最大のイベントとして開催している「来原さんばい祭り」が今年で第40回を迎えます。来原地区コミュニティづくり連絡協議会では、40回の節目にあたり記念誌を作製するための準備を進めています。国の重要無形民俗文化財に指定された「原田はやし田」をはじめ、神楽や地域の文化活動、小学校・中学校の発表やバザーなども含め、これまでの記録をまとめていきたいと思ひます。

つきましては、過去の記録写真やプログラム、チラシなど、持っておられる方がいらっしゃいましたら、是非ご協力をお願い致します。特に第1回目から第20回までの古い資料があればありがたいです。提供いただいた資料は責任を持ってお返しいたします。

今後の予定は、5月までに資料を収集し、編集作業を経て9月頃の完成を目指していきます。趣旨をご理解のうえ、何卒ご協力をお願い致します。

来原さんばい祭り40周年記念誌編集委員会



皆様のご協力を
お願いします!

【連絡は、来原コ連協広報部まで】

原田神楽団太刀納め・ 原田客まつり



11月22日 来原小学校体育館にて
原田カラスのメニューも多彩に!



舞台をつめる
さまざま
地域の活動

来女木客祭り

十一月二十三日 来女木公民館にて

『くるはら』の神社めぐり〈三〉

簾八幡神社

すだれはちまんじんじや

安芸高田市指定重要文化財
絵馬「武者図」(加藤清正虎退治絵図)
児玉希望作



近代日本画の巨匠、児玉希望(本名省三)は、明治三十一年(一八九八)年七月五日当地(原田簾)で生まれた。
絵馬「武者図」は、加藤清正の虎退治の絵で、行年書(落款)

に「児玉省三 行年十三才」とあり、幼いころから慣れ親しんだ近くの当社に奉納したものである。

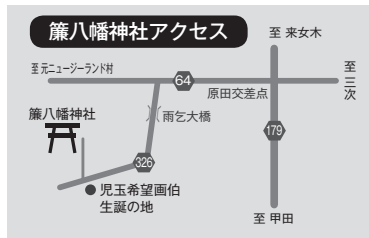
中国院体画の筆意に倣ったとみられるこの作品は、細密描写に優れている。「梅檀は双葉より芳し」の諺のとおり、年少にしてすでに画才を遺憾なく発揮しており、原田八幡神社の「白鷹図」の絵馬とこの絵馬は、希望が進んで故郷の神社に奉納したものである。

少年期と大成した後の作品とを対比できる興味深い資料にもなっている。

平成十四年三月二十五日

高宮町教育委員会
高宮町文化財保護審議会

(現地案内看板による)



高宮町文化財保護審議会
高宮町教育委員会
平成十四年三月二十五日
高宮町文化財保護審議会
高宮町教育委員会
高宮町文化財保護審議会
高宮町教育委員会

岩桜山八幡宮

(来女木)

祭神 志神天皇
高田郡 郡代 松平安芸守 篠村源五衛門
大工 市左衛門
奉造立八幡宮一宇伏祈宝永二乙酉天
御武運長久 来女木村 代官 神職 秋田兵部
竜神新平 庄屋 吉衛門



最初の八幡宮は、何年に建立されたかは分かりませんが、河内城の城主が宇佐八幡宮の分霊を受けて、河内城(現在の城跡)に建立していたものが、宝永二(一七〇五)年に現在の岩桜山に奉移したものであると言われています。建立時に、河内某の子孫が神事の時に社参したが、特別には御神事、御神酒を受けられなかったとの記述もあります。(以上「国郡誌御用二付下調査出帳」による。)

昭和十七年九月

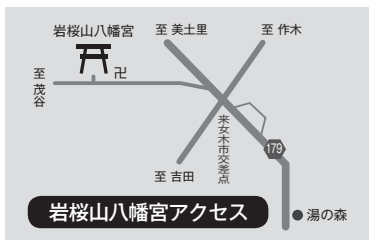
奉本殿大改修

大工 津山美佐登
大工 児玉 哲二
大工 児玉 忠八
大工 吉岡 悦二

寶永二年建立 文久元年第二回葺替 昭和十七年大改修ソギ葺ヲ更メテ瓦葺トス

文久元(一八六一)年に二回目の葺き替えが行われ、昭和十七年の大改修により現在の姿となっています。

(本殿屋根裏釘付けの「棟札」による。)
(文章は上森芳昭氏のもので掲載許可済み)



2017年 スナップ



門松づくり



ハーモニー広場で
大地の祭り



高宮中学校ナイター運動会



くるはら保育園



来原小学校運動会
恒例！もんぺリレー



平野弘則 前来原コ連協会長 総務大臣表彰受賞 おめでとうございます!

このたび、多年にわたり地域的な共同活動に尽くし良好な地域社会の維持及び形成に寄与された功績を称えられ総務大臣表彰を受賞されました。

☆コ連協等行事予定

- 1月7日 安芸高田市消防出初式
- 1月28日 第18回新春高宮子ども神楽発表大会
- 2月18日 安芸高田市民フォーラム
- 3月10日 高宮中卒業式
- 3月20日 来原小卒業式
- 3月25日 くるはらミニ駅伝競走大会
- 3月26日 くるはら保育園卒園式
- 4月5日 くるはら保育園入園式
- 4月6日 来原小入学式(予定)
- 4月9日 高宮中入学式(予定)

編集後記



明けましておめでとうございます。本年が皆様にとりまして幸せ多い年となりますようお願いいたします。

さて、広報「くるはら」五十四号ができましたのでお届けいたします。今号は、夏以降の来原地域の話題を集め、編集会議を重ねて、発行にこぎつけました。

これからも、来原地域の身近な話題を載せるためにも各方面からの情報をお寄せいただきませうようお願いいたします。

今回、原稿をお寄せ下さいました方々、取材にご協力下さいました方々に心からお礼を申し上げます。

(H・N)